

## 児童の登下校時の安全を守る

常陽銀行から防犯ブザーが贈呈されました

児童1人ひとりの防犯の一助にと、4月1日、常陽銀行の麻生・北浦・玉造の各支店長が伊藤市長を訪ね、防犯ブザーを贈呈しました。

これは、安心して生活できる地域社会づくりの一環として、行方市内の新小学1年生を対象に同銀行が毎年実施しているものです。

児童の登下校時などの安全確保のため、役立たせていただいております。

今年度の市内18小学校の新入学児童数は、289人です。



## 行方市の野菜をアピールしたい

地域の次代を担う5名の女性が野菜ソムリエを取得

野菜ソムリエを取得したのは、市が実施した「輝く未来づくり担い手育成事業」に参加した羽生美咲さん、浅野敦子さんら5名の女性。

浅野さんは「今まで何気なく食べていた野菜を見る目が変わりました。生産の喜びと厳しさあるいは野菜の持つ特性を活かした調理方法などを学びましたので、仕事でも行方市の野菜を全国にアピールしたい」と感想を述べていました。

5人は、今春、パティシエ、食品会社、農業生産法人などの新しい道で活躍されています。

## 里山空間で憩うベンチを設置

緊急雇用による第6次産業型観光基盤整備

農業生産法人(有)くらぶコアでは、市の委託を受け、地域の失業者を受け入れ、第6次産業型観光基盤整備事業に取り組み、里山や田畑、湖(かわ)の資源を活用したニューツーリズムの基盤整備を実施してきました。

この度、大工やログハウス建築家の指導を受けた臨時的な雇用従業員が制作したベンチを身近なみどり整備推進事業で整備された、小貫、若海、西蓮寺、武田の各地区4カ所の里山に設置されました。

様々な交流の場としての活用が期待されます。



若海地区の里山に設置されたベンチ



## 理科教育優秀校として表彰

麻生第一中学校

麻生第一中学校が幡谷教育振興財団賞理科教育優秀校を受賞しました。これは同校の理科学習における取り組みが評価されたものです。

「驚きと感動の中から豊かな感性を育み、科学好きな生徒の育成をめざして」のテーマのもとに体験活動や思考を重視する追求活動の工夫を図り授業へ取り組んだり、科学研究・発明工夫作品展へ全生徒が参加したことや霞ヶ浦環境保全教育や霞ヶ浦湖上セミナーへの参加等、環境教育の充実を図ってきたことが評価されての受賞となりました。おめでとうございます。

## 東日本大震災の発生後、行方市に対する多くの義援金が集まっています。 心から感謝申し上げます。

- 株式会社・啓生運輸様 1,000,000 円
- 八品建支郎様 500,000 円
- 茨城県市議会議長会様 100,000 円
- 永沢他喜藏様 33,000 円
- 弓削 清様 42,000 円
- 小牧さだ様 28,800 円

(順不同・4月20日現在)

義援金のほかにも災害時にたくさんの物資提供などをいただきました。ありがとうございました。



3月29日、(株)啓生運輸様

## 風評被害に負けるな！ おいしい行方野菜を安心して食べてください！

茨城で現在出荷されている農畜産物は、安全が確認されたものです。農家では美味しい農産物を自信を持って出荷していますので、安心してお召上がりください。また行方市では風評被害に負けないよう行方野菜をPRしていきます。

(参考) 分析調査を行った主な品目

### ○農産物

【葉茎菜類】チンゲンサイ・コマツナ・サニーレタス・ミズナ・レタス・ハクサイ・キャベツ・ネギ・ニラ・大葉・切りミツバ・セルリー・エシャレット・ハウレンソウ・カキナ・パセリ

【根菜類】レンコン

【果菜類】トマト・イチゴ・キュウリ・ピーマン・小玉スイカ

### ○畜産物

牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵・原乳

※一部の地域（北茨城市・高萩市）のハウレンソウについては安全が確認されるまで出荷を控えております。なお、県では出荷制限の解除に向けて継続的に調査を行っています。

※上記の内容は平成23年4月17日現在の内容です。



4月8日（金）JAなめがたが中心となり、茨城県庁で行方野菜の即売会を行いました。エシャレット、さつもいも、みず菜、ちんげん菜ばな、春菊などが並びたくさんの方で賑わいました。特にいちごは用意した100箱がわずか30分で完売。両手の手提げ袋いっぱい購入している方もおり『行方の野菜はとても新鮮でおいしい。県内から盛り上がって風評被害を払拭してほしい』との声が聞かれました。